

大 会 挨 拶

早 慶 戰 を む か え て

慶應義塾大学バドミントン部長
商 学 部 教 授 白 石 孝

早慶戦は学生諸君はもとよりOB諸君にとっても楽しみの一つと思います。お互に日頃の技術を披露してその向上に努力する機会でもありますから、両校の選手諸君やOBが一堂に会して、肩をたたきあい旧交をあたため、楽しいふんいきの中でのその技をきそることは早慶戦独特のものと思います。

早慶戦も回を重ねるにつれて技術の接近がみられ、試合が白熱化してきたようで、誠に喜ばしいことです。今度もそうしたゲームが展開されることを期待しています。もっともそれだけに些も油断出来ません。OB戦にいたっては、前回に一ポイント差という経験がありますので。

どうか両校の諸君が最高の技術を発揮して互に教えられるような試合となりますように。

早稲田大学バドミントン部長 岩 片 秀 雄

早慶バドミントン定期戦も本年で回を重ねること12回となった。今回は早大記念会堂で両校のOBと学生諸君が互に技を競うのであるが誠に喜ばしいことである。

さて、この早慶戦にはいろいろの意義があると思う。優勝を目指して双方の持てる力を充分に發揮して激突するのも一つの目的であれば、伝統ある両校の面々が独自の雰囲気で日頃鍛え上げたスポーツ精神をもって接触し合うことも亦目的の一つであろう。しかし其処には常に技術の向上と尊敬と親愛とが期待される。

先般のトーマスカップ戦で我が国は敗れたとは云えよく戦ったと思う。競技を観戦して、つくづく感じたことは我が国選手の競技年令の若いことである。よいOBを受入れ育成する環境が是非欲しいものである。

待ちに待ったオリンピック競技大会の日取りもいよいよ間近かに迫ってきた。各国の選手たちは必勝を期して争うであろうが、この際我々国民はこの競技から何を遊び取ろうとするかは大きな課題と云わねばならない。戦後の我が国青少年男女の体力が著しく増進したことは確かである。この競技を契機として国民体育の増強と国際的視野に立って物を考える素地を把握することができれば大きな収穫と云えよう。

最後に両校OB並びに学生諸君の御健斗を御祈り致します。

定期戦に寄せて

慶應義塾大学法学部卒 昭和三十年 德用佳夫
(旧姓羽田)

久しぶりで出席したOB会で早慶戦が近づいたことを聞かされ、今年もうそんな時期になったかと、つくづく月日の経つのは早いものだと考へさせられた次第です。

早いもので第一回の早慶戦が企画された時私は現役3年でしたが、来年度のマネージャーとして何ごともトレーニングだと先輩におだてられ、後援新聞社の交渉やら会場の決定やら飛び廻ったことが昨日の出来事の様に思いだされます。聞くところによると当時の早稲田の代表選手菊地君などは今もなおOBの最前線に立って慶應OB選手の行く手を阻んでいるとの由、誠に立派と云う以外言葉もなく敬服の至りです。私などはぜんぜんバドミントンをする機会もないのですが、すっかりふと腹が出てしまい、先日もある集りで草バドミントンの前衛を承ったところ腹がネットタッチしてしまいさんざんのていでした。

ともあれ年一度の定期戦を通しての早慶両校の親交、OB同志の楽しい交際などは、定期戦が年と共に盛大になる様に、より深くより親しくありたいと念願して居ります。

慶早定期戦に寄せて

早稲田大学文学部 昭和三十年卒 川口高誉

OBとなってから早いもので、すでに9年在校時代の想い出の中でも特に第1回のWK定期戦は私にとって忘れられないものである。当時慶應は全日本級をキラ星の如くそらえ、常にリーグ戦に覇をとなえていた。それに比して我が部はやっとラケットの握り方をおぼえたばかりのいたずら坊主だった。いたずら坊主が壁(慶應のことを当時そう呼んでいた)に球をぶつけける、はねかえってきた球が頭にぶつかってワーンワーン泣きだす。その壁と坊主が定期戦をやるといふ。おまけに新聞社がついているという当時の我々のおどろきようを想像していただきたい。「たとえランキングを逆にしてもとても歯がたたないがベストをつくして1ポイントでもよけいにいただこう」というのが我々の決意だった。

スタンドの声援も聞きわけられぬままに夢中で壁をたたいていた様だったが結果は14-1で全く一方的な負けっぴりだった。しかし試合中終始シンケンに紳士的に接してくださった慶應諸兄のコートマナーは今でも私にとってあたたかい想い出となっている。

本年で第12回を迎えたこの定期戦も両校現役OB諸兄の努力で益々充実してきていることは本当によろこばしいことである。いたずら坊主も今や青春時代を迎え様としている。このWK定期戦を「より伝統あるものに」育っていくことこそ今後に譲せられた我々の任務ではないだろうか。

慶早戦に寄せて

慶應義塾大学経済学部 三十六年卒 宮 水 武 司

慶早戦もいよいよ 12 回目と云うことですが、いつもこの定期戦を思うとああ今年も又塾の勝ちか？ などと呑気に構えていたのは三、四年前までで、最近では実力伯仲で数ある定期戦の中で伝統だけでなく勝負の興味も出て来たバドミントン界の話題となっていると思います。又 O・B 戰、女子戦、高校戦も含まれる事は素晴らしいの一語に尽きると云えるでしょう。私自身も現役時代はあまり感じなかつたのですが、元来が負けず嫌いのため O・B 戰たりともやはり勝たなくてはと意気込んでいます。しかしながら我々にとって、この定期戦にはバドミントン以外に夜の交換会がなお一層楽しみで、滅多にお目にかかるれない先輩諸兄とともに過ごすなごやかな雰囲気は慶早戦ならではと喜び、今後とも出来得る限り参加させていただつもりです。今年はオリソビックの年ですが、その年に連勝がストップしては後々まで語り草にもなりかねません。現役戦には何としても勝利を収めてもらいたいものである。もち論 O・B 戰は昨年の雪辱を期して頑張りましょう。

早慶定期戦に寄せて

早稲田大学商学部 三十六年卒 堀 栄 一

第十二回早慶定期戦を迎えて新らなたなファイトが湧いて来ます。私が早稲田大学に入ってから四年間、毎年感じた事であり、卒業して社会人となった現在でもなお、その気持になると云う事は、早慶定期戦が如何に我々の心に刺激を与えるか計り知れないものがあります。これも諸先輩の御努力の賜であり、今後もっと伸ばして行かねばならない事と思います。過去、早慶定期戦に於て十一連取し、数年来一部の最下位に低迷している早稲田ではありますか、そのチーム力は徐々に向上、充実しています。今年あたりから少しづつでも借りを返えして行くべく早稲田を擧げて張り切っております。しかしここれまでの早稲田の戦い振りには残念ながら早稲田らしさがあまり感じられない事が多くありました。勝利の女神が笑えまない理由は、「ここにあり」と大いに反省しなくてはならない事であります。実力を一二〇パーセント發揮して火花の散る様な試合を開催してこそ本来の姿であり、早慶両校の発展であり、日本バドミントン界の為ではないかと思ひます。

慶早戦に寄せて

慶大主将 長谷川敏彦

ここに早くも入部以来4度目の第12回慶早戦を迎える事に成り、過去、塾の十一連勝と云う輝かしい記録にもう一勝を加える積りです。

そのために、我々は暑さの中での日吉のトレーニング、秋田での合宿にこの夏の休みを過してまいりました。又これから秋にかけてのリーグ戦、インカレへ踏み出す第一歩をこの早慶戦にかけています。しかし、早稲田もそうはさせじと猛練習を積んでノチがましてくる事と思います。現役は現役らしく大いにハッスルして激笑し合うではありませんか。

この慶早定期戦も来年あたりは激しいせり合いになると予想されます。しかし、それが一部校の最下位争いと云うのではなく、優勝をかけ両校が戦う様に今から慶早両校の現役は、お互に努力し合っていこうではありませんか。

アルミニウムケーブル



わが国ではじめて
波形アルミニウムO.F.ケ
ーブルを開発したのはア
ルミニウムケーブルのハイ
オニア、大日日本電線
であります。

大日本電線

本社 大阪市北区梅田7-1-3(梅田ビル)

東京支所 東京都中央区日本橋2-1(日本橋ビル)

支店 東京都千代田区丸の内1-6(萬葉ビル)



東京瓦斯株式会社

東京都中央区八重洲1の3
電話(281) 0111-10, 0121-10, 1121-10

早稲田大学バドミントン部

主 将 吉 良 悠 一

第 12 回の早慶定期戦を迎える事となり、我々は年毎に盛大になるこの定期戦をたいへん喜んでおります。私たち 4 年生が入学した第 9 回から慶応の勝点が 1 ヶタになり、早稲田は、今年こそは、今年こそはと初の一勝を狙ってまいりました。特に今年は、若い戦力が、慶應以上の厳しい練習が、そして打倒の気力があります。我々は、早慶戦における新しい 1 ページを記さんものと斗志を燃しておられます。

この 5 月には、マス杯が催され、早慶の両校から、宮永、堺両先輩が出場され、大いに健斗され日本バドミントン界に大きな影響を与えてくれました。我々はデンマーク選手のようなスタミナと、インドネシア選手の勝負への執着を身に付け、この定期戦に備えています。伝統のこの定期戦に、早慶の多数の先輩の前で堂々と戦い、15 のポイントの 1 つ 1 つに勝利を取めるであります。

まだ忘れておりません、昨年秋風に涼しかった頭を…………。

Daitobo
大東紡

羊毛製品の総合一貫メーカー



現代を着る

シャンティック

50,000,000人の

本モードン[®]

夢を編みだす
つまり毛糸

大東紡織株式会社

じ価格です
陸鳥球とほどんど同
ししかも
ももちろん国際規格球
すばぬけた耐久力

風格ノ
トツねに
く



慶應義塾高校メンバー

主 将	池 本 道 夫	2 年 普通部出身
副 将	牧 康 三	2 年 大島中学出身
主 務 手	板 倉 浩	2 年 中等部出身
選 手	江 勝 義	2 年 普通部出身
〃	橋 浩	2 年 中等部出身
〃	高 野 悅 司	2 年 蒲田中学出身
〃	大 木 幹 夫	2 年 普通部出身

慶應義塾高校 バドミントン部 主将 池 本 道 夫

昨年から開始されました高校戦も、わが慶應高校1勝のあとを次ぎ、今年も対戦の時がやってまいりました。

今年はメンバーも一新し、全員が張り切って、連勝を期して練習に励んで来ました。その結果を今後永く残る伝統の早慶戦史上に悔いの無いように、発揮したいと思っております。

高校生のプレーは、次に展開される大学の豪快ですばらしいプレーには、遠く及ばぬものではありますか、その斗志だけはけして劣らぬものと自負しております。O Bの方々、高校生としてのファイトにあふれたゲームに御声援をお願いいたします。

そして、早稲田と墨の両校が、歴史のページは未だ少い乍ら、この定期戦を盛りたて、良いライバルとしてますます成長していきたいと思っております。

WAN の 洋 品 サ エ キ

早稲田中学校北門前

早稲田高等学院メンバー

主 将	和 久 井 進	3 年	大森第三中学校 出身
務 手	齊 藤 重 典	3 年	北中野中学校 ◇
選	齊 藤 次 郎	2 年	東田中学校 ◇
"	桂 植 桂	2 年	四谷第二中学校 ◇
"	松 本 光 生	2 年	四谷第二中学校 ◇
"	田 草 肇 2	年	上原中学校 ◇
"	矢 口 重 翁 1	年	牛込第一中学校 ◇
"	五十嵐 茂 樹 1	年	浦和市立常盤中学校 ◇

早稲田高等学院バドミントン部 主将 和 久 井 進

早慶戦がやってきた。どれだけ待ちわびたことだらう。まだ高校戦は2度目であるから伝統の早慶戦とはいえないかもしない。しかし僕達も伝統の大戦現役戦に負けないりっぱな試合をしようと思う。

去年は慶應さんに完敗した。1セットしかとれなかつたのだから、この汚名はしょうがない。敗けた時から今度の早慶戦こそはと全員ファイトを燃やしてトレーニング、合宿とは行んできた。その成果がどのような結果を示すか、楽しみだ。

学院のバドミントン部は、今年で3年目を迎えます。石の上にも3年のことわざどおり、今迄は下積み、基礎的なことに重きをおいてきました。いよいよ、これから、飛躍するのだと張り切っています。僕達をここまで育ててくれた。大学OB諸氏、現役諸氏、学院OBにこれまでの成果を見思いたいと思う。先輩に敗けない、又後輩に対してもはつかしくない立派な試合をしたいと思います。この早慶定期戦を機会に義塾高校と、学院のバドミントン部の交流が、より盛んになるよう希望します。

祝

第12回早慶バドミントン定期戦

永田運動具店

新宿区戸塚町1~589 (341) 3261